

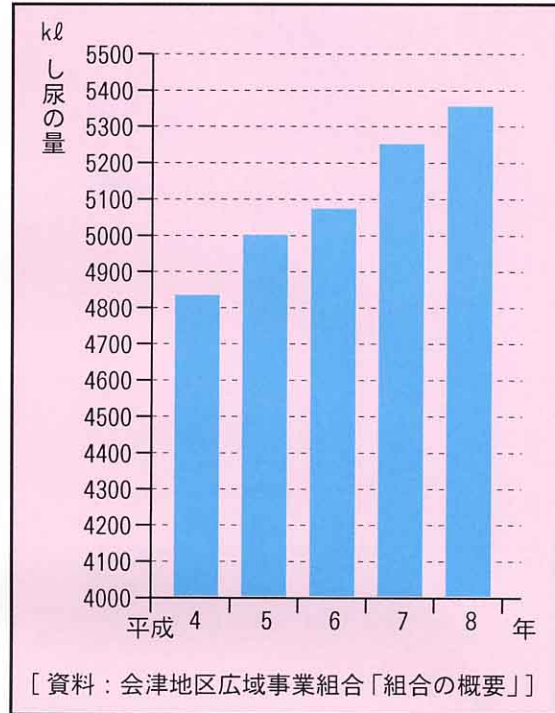
Ⅶ 住みよいくらしをささえる

1 ごみと住みよいくらし

(1) 町から出るし尿

し尿の処理は、町の環境と人々の健康を守るために、大切な仕事です。わたしたちの町から出るし尿の量の移り変わりを調べてみました。グラフを見るとし尿の量はとても多く、年々ふえてきています。

し尿は、バキュームカーでくみ取られ、会津若松市にある「会津地区広域事業組合」の処理場で処分されます。



(2) 町から出るごみ

ごみの処理は、わたしたちが生活するうえで大切な仕事です。わたしたちの家庭から出るごみを調べてみると、とてもたくさんのごみが出ていることが分かります。平成8年を見てみると1年間で町の人1人ずつ約172kgものごみを出しています。

また、ごみの種類としては紙類や生ごみ、金属、ガラスなどたくさん種類があります。

▲ 河東町のし尿の量の移り変わり

